基礎教育科目　講義科目

科目名：	情報分析力を鍛える	科目コード	AA51
科目主査： 池内 健治	担当講師： 池内 健治、楳村 麻里子、大沼 宏和、小林 久司、榊原 康成、竹元 雅彦、堀内 勝夫、増野 洋子、依田 朗裕	単位	2
		配当年次	1

授業の目的と概要	グループワーク： ☑ あり ☐ なし	個人ワーク： ☑ あり ☐ なし

たくさんの情報を収集できるようになったのに対して、収集した情報を上手に活用することは簡単ではありません。職場・家族・地域社会など、の組織や共同体においては、関係者を説得し理解・納得を得なければ、種々の課題解決を行うことはできません。的確な情報分析力は、円滑なコミュニケーションを生みだし、話を前に進ませる大切な基礎となります。
本科目では、事前学習で理解した知識をベースに社会人として情報を上手に活用するためのカギとなる情報分析力の考え方を理解し、その高め方を学びます。

履修の前提となる科目	☐ あり ☑ なし	科目名：
履修の前提となる知識 その他特記事項	初めての方にもわかりやくすく事例を交えてすすめます。情報を適切に分析し、その結果から適正な判断ができる情報分析力の重要性を理解します。キーワードを参考に整理し、自分の考えを表現できるように準備してください。	
テキスト	『情報分析力を鍛える』, 生方 正也, 産業能率大学総合研究所, 最新版	

この科目の 到達目標	①情報の入手と利用に関する基本的手法および情報分析についての基本的な考え方を説明でき、有効に活用できる。 ②テキストに記載された事例などを応用し、仮説の設定⇒分析⇒意思決定を繰り返し行い、現実社会の事例に当てはめて応用できる。
成績評価 の 方 法	個人ワークへの表現を評価対象とします。個人ワークのテーマは、時の話題、テーマなどを織り込みますから、話題、テーマに応じて、取組時間などが変化します。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。

事後学習	本授業で学んだ情報分析力をもとに、実生活で活用する情報を多様な視点から分析して結論を導く練習を重ねてください。また、収集した情報を分析して、自分の意思決定に活かし、その結果を振り返る学習を続けてください。
事後学習の 参考文献	『アナリストが教える リサーチの教科書』高辻 成彦, ダイヤモンド社 , 2017年 『ビジネスマンのためのデータ分析＆活用術』米谷 学, フォレスト出版, 2016年 『情報を生かす力』池上 彰, PHPビジネス新書, 2016年 『ファクトフルネス』ハンス・ロスリング, 日経BP社, 2020年

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 ☑カメラ・マイクは必須となります。